

堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第35号

発行：平成29年10月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

イベント報告

● 春のふれあいの森まつり (平成29年4月2日)

開園を祝うお祭りとして開催されているこのイベントも、今年で11回目となりました。参加者はグループに分かれて、「森の散策」「シタケの菌打ち」「自然工作」の3つのプログラムを順番に体験しました。

シタケの菌打ちでは、ボランティアの方にサポートしてもらいながら一生懸命ドリルで穴を開け、森の散策では、水中のアカガエルの卵塊を覗きこむなど、小春日和の中、春の森に元気な笑い声が響いていました。



● 自由研究講座 (平成29年8月1日～4日)

夏休みの自由研究をサポートする企画として、今年度は4種類の講座を開催しました。

①クモ編

クモの生態について学んだあと、クモの巣の標本を作りました。クモの巣は壊れやすいので、みんな慎重に巣を紙に移していました。



②草木染め編

ススキを採取して生地を染めました。媒染液や生地を変えると色が変化するので、台紙に貼りつけて色見本を作り、比較しました。



③昆虫編

野外で採取する際の注意点を学んだあと、野原でバッタや蝶、カマキリなどを捕獲しました。捕まえた生きものを図鑑で名前を調べ、用紙に記録しました。



④植物編

葉っぱの役割について学んだあと、木道で様々な形の葉っぱを観察しました。そして、採取した葉っぱで押し葉標本を作りました。



ホームページの更新

9月1日より、ふれあいの森のホームページが新しくなりました。見やすく、知りたい情報がすぐに分かるように、デザインを一新しました。

また、園内で撮影した生きものや風景、各広場の様子が360度見渡せる動画が新しく加わりました。動画については、面白い映像が撮影出来たら随時更新していきます。季節ごとの生きもの情報やバリアフリー情報等も分かりやすく表示しましたので、是非ご覧ください。「堺自然ふれあいの森」で検索してくださいね。



園内のナラ枯れ被害

ナラ枯れは古くから見られる現象ですが、特に1980年代以降日本各地でナラ類等の大量枯死が発生しており、堺市内でも昨年あたりから被害が目立つようになってきました。この枯死の原因となっているのがカシノナガキクイムシで

す。体長5mmほどの円筒形の甲虫が木の中に坑道を掘り子育てします。メスの体には菌(ナラ菌と酵母菌)を保持する特殊な器官があり、坑道の壁で育てた菌が幼虫たちのエサになります。樹木の辺材に坑道が延びることにより、根から吸い上げられる養分の通り道がふさがれ樹木が枯死します。ただし侵入木のすべてが枯死するのではなく、コナラでは3割程度だと言われています。

被害を受けやすい森は、比較的高齢で大径木の多い薪炭林とされており、手入れされず放置された里山の増加が、被害の拡大につながっているとされています。

ふれあいの森の中の園路沿いでカシノナガキクイムシに侵入された樹木を調べたところ、2017年9月14日現在で35本のコナラの侵入木が確認されました。そのうち枯死したのは1本でした。来園者が安全にふれあいの森を利用できるように、侵入木の変化の状況や、落枝や倒木の危険性の有無などのチェックを続けています。また森の館や木道付近のコナラに対して、カシノナガキクイムシの侵入を防ぐため2mmメッシュの白い網を2重に巻いています。里山環境を復元する過程で、カシノナガキクイムシの侵入は避けられない試練ではないかと思われます。



▲カシノナガキクイムシ
上：オス、下：メス

「農活動」

里山としての重要な空間である田畑。日々の手入れや収穫体験などを担当しているのが農活動です。その活動の様子を取材してきました！



<8月 作物の手入れと農の見学ツアー>

畑の作物が青々と茂るこの季節、水やりや草刈り、鳥獣害防止のためのネット張りなど、畑仕事は盛り沢山。手分けしてそれぞれの作業に取りかかりました。畑には日陰がなく、陽射しがじりじりと照りつける中での作業なので休憩は必須。一仕事終わると皆で日陰に腰掛け、お茶を片手に自然の音に耳を傾けたり、和気あいあいとおしゃべりをしたりと、ゆったり過ごしリフレッシュしました。そしてこの日は団体来園者があり、作物のお話をしながら田畑を巡る



▲作物の手入れ

「農の見学ツアー」を体験していただきました。食卓ではよく目にする野菜でも、畑の様子を見る機会は少なく、ゴボウやサトイモ、カボチャなどを見て触れて、ツアーに参加した子どもたちも大人も感心しきりでした。



▲農の見学ツアー

畑仕事には根気と体力が必要ですが、作物が成長していく様子や、収穫体験での子どもたちの笑顔を活力に、自然と一体となって活動をしています。



活動プロフィール
活動日：毎週木曜日
人数：約20名

活動の世話役さんにインタビュー！

Q. 活動の目的（担う役割）は？

A. 会員が農作業を楽しみ、収穫物等を利用して市民向けのイベントを開催すること。

Q. 一番やりがいを感じる作業（仕事）は？

A. スケジュール通りに収穫できて、市民の皆さんがイベントに満足された時。



いっちんクラブ (世帯別) 藤谷さん

Q. 活動はどんな雰囲気？

A. 和気あいあいとした雰囲気ですが、会員の皆さんの頑張りは凄いです。

Q. みなさんに一言メッセージをどうぞ！

A. 10月にはソバの開花～実りの時期です。ぜひ一度ふれあいの森の田畑をのぞいてみてください。

森の整備計画

(H28年度報告とH29年度計画)

園内の整備は、森の整備計画に基づいて市民ボランティアと指定管理者が連携して実施しています。この整備計画は、毎年11月に開催している「森の整備計画会議」にて次年度の実施内容を協議し、作成しています。

H28年度活動報告

H28年度は、西ゾーンを含めた森の全域の管理及び整備活動を行いました（活動日数32日）。今年は従来の園内各所で実施している林床整備に加え、チガヤ草原（東のおじいさんの木の東側斜面）へのチガヤ移植、クヌギ育成区（旧お弁当広場）への実生苗定植、および西ゾーン（尾根みちの西側斜面）での林床整備や枯木・枯枝の整理、不要木の伐採など本格的な整備を開始しました。

その他、カスミザクラの道沿いの「雑木林6」のエリアでは、11月に集中的に林床整備や枯木除去、常緑樹の伐採等を実施し、その結果、法道寺川の川向こうの紅葉の眺めがよくなりました。整備対象エリアが年々増加しているため、刈払機や粉砕機、動力運搬車などを活用し、作業の軽減及び効率化を図りました。



H29年度活動計画

H29年度は、里山風景区の保全、雑木林やシリブカガシ林整備区の林床整備、アカマツ再生区の手入れ等に重点的に取組みます。また、クヌギ育成区の整備継続や、チガヤ草原の拡充も図ります。園内随所に繁茂したネザサの刈取りは粘り強く推進し、里山らしい植生の回復に努めます。落葉や腐葉土は、林内で堆肥化し、ネザサ、ススキや小径木は粉砕機でチップ化を進めます。

H28年度、隣地でカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害を確認しました。園内では、必要に応じてナラ枯れ予防作業やナラ枯れ発生木の処理に適宜対応します。

H28年度から始めた「西ゾーン」の整備活動については、尾根みち近辺の整備を更に拡充します。また、区域ごとの整備目標樹種を基準に、林床整備、枯死木・倒木整理、間伐などを積極的に進めます。



ふれあいの森周辺の見所紹介



堺自然ふれあいの森は、堺市南区の南部丘陵の自然豊かな里山が広がるエリアの一角にあり、周辺には、自然や歴史を感じるスポットが数多くあります。中でも、最寄駅の「泉ヶ丘駅」からふれあいの森へ行く道中には、緑道やのどかな田園風景が広がる台地、寺社仏閣や地元の野菜やパン、スイーツなどが購入できるお店等が点在しています。車はもちろん、バスで途中下車したり、自転車でのんびり巡ったりすることも出来ます。

上神谷の台地からふれあいの森周辺は、アップダウンが続きます。自転車や徒歩で巡る場合は、体力を考慮し、時間に余裕を持ってお越しください。

参考ルート
■泉ヶ丘駅発着：13km
■駅から森まで片道：5.7km

1. 上神谷の台地
見晴らしのいい道路。両側には上神谷米が作られる田んぼが広がり、天気の良い日は岩湧山・葛城山から六甲山まで見渡すことが出来ます。夕暮れの風景もお勧めです。

2. 法道寺
7世紀中頃、法道仙人が開いたとされる高野山真言宗の寺院です。境内には、重要文化材の食堂、多宝塔、十六羅漢像があります。

3. コスモス館
地元鉢ヶ峯寺で作られた野菜の販売や、農作物や花の収穫体験が出来ます。

4. 堺自然ふれあいの森
17.2haの敷地には、野原や田畑、散策路、スタッフが常駐している「森の館」があり、季節ごとの自然を楽しむことが出来ます。イベントに参加する他、木陰でお弁当を食べたり、森を散策するのもオススメです。

5. 堺公園墓地
墓地の道路沿いでは、桜、新緑、紅葉と、様々な風景を見ることが出来ます。

「SAKAI散歩」をご存じですか？「SAKAI散歩」とは、散歩するように堺のまちを巡り、「歴史や文化」に触れたり、「食」を楽しんだりと魅力スポットを楽しむ、「自転車のまち・堺」ならではの、自転車の新しい楽しみ方です。

堺市内には、ご存じのとおり、魅力スポットが目白押し。これらを自転車で見ついでみようとして、昨年、初の試みとして、堺の中心市街地を中心とした散歩コースをつくり、体験する「SAKAI散歩フォーラム及び体験会」を企画しました。散歩するようにゆっくり巡り、美味しいお店をハシゴしたり、また、隠れ家的なスポットに出遭うなど、自転車を活用した新しい楽しみ方「SAKAI散歩」を通して、まちの再発見につながりました。

そして第2弾として、今年の5・6月に堺市南区内で、泉北ニュータウンまちびらき50周年事業のひとつとして「SAKAI散歩」を体験する企画を実施。30名を超す申し込みがあり、参加者同士で地図やパンフレットを参考に、練りに練って5つのコースが出来上がりました。そのうち、2コースが「堺自然ふれあいの森」を巡るコースとなり、まさしく、自転車と「堺自然ふれあいの森」がつながるきっかけとなりました。

自転車で「堺自然ふれあいの森」に行けるの？と、思われる方もいますが、南海泉北高速泉ヶ丘駅前から電動自転車を使えば割と楽に行けます。もちろん、丘陵地特有のアップダウンは避けられませんが、電動自転車は、スイスイと登っていきます。途中、棚田の田園風景を楽しむこともでき、寄り道をしなければ約30分で現地に到着できます。

森に入ると、市内と思えないぐらいの自然が360度広がっており、圧倒されます。樹木は勿論のこと、花や虫、鳥、また、せせらぎや風の音などあらゆる自然を満喫できる環境が整っており、一瞬で都会の喧騒から解き放たれ、別世界に来たかのような錯覚すら覚えます。

是非、自転車で足を延ばし、「堺自然ふれあいの森」へ行ってみたいかがでしょうか。道中には美味しいお店や、お土産に最適な有機野菜を販売している場所もあります。二酸化炭素を排出しない、環境にやさしい自転車を活用して、南部丘陵地のスポットを巡れば、森林浴でマイナスイオンを背中いっぱい浴び、いつもの日常と少し違った、ゆったりとした時間を過ごすことが出来ると思います。



「SAKAI散歩」は、今後も堺市内で開催する予定です。私達と一緒に、自転車に乗りながら堺の新しい魅力を発見する旅に出かけませんか？

SAKAI散歩

検索



●●●●●●●● お問い合わせ ●●●●●●●●

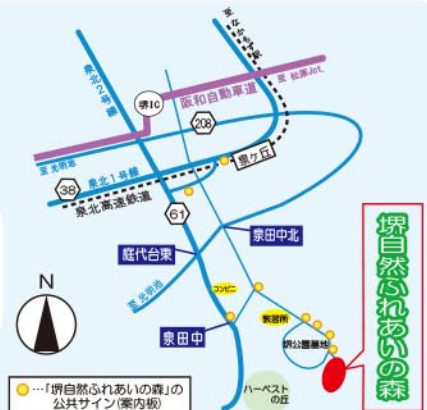
堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地
TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811
ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>



交通案内

お車の場合は「堺公園墓地」を目指してお越し下さい。



発行：堺自然ふれあいの森 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)
※ふれあいの森パートナーズは、株式会社生態計画研究所とNPO法人いっちゃんクラブの連合体です。